

令和6年度青森商工会議所 経営発達支援計画事業評価書

国の認定を受けた「経営発達支援計画」の各事業について事業評価委員会を開催し客観的な評価をいただいた。いただいた評価をもとに今後の各事業の見直しを行う。

記

1. 事業評価委員会の開催日程

令和7年5月26日（月） 10:00～11:00

2. 評価委員

青森市経済部経済政策課 課長

千葉 皆 工 氏

株式会社若山経営 代表取締役

若 山 恵佐雄 氏

中村社会保険労務士中小企業診断士事務所 代表

中 村 貴 志 氏

青森商工会議所 専務理事

葛 西 崇 氏

3. 評価基準

A⇒目標を達成することができた。

B⇒目標を概ね達成することができた。

C⇒目標を半分程度しか達成することができなかった。

D⇒目標をほとんど達成することができなかった。

目標に対しては、達成度合いでの評価とする。

※評価内容の記載してある下記表上段は、A・B・C・Dの内容に基づくもの。下段は、評価者4名の内、該当する評価を何人行ったかの人数を記載している。

A	B	C	D

令和7年6月

1. 地域の経済動向調査に関すること

- ①経営課題アンケート調査
- ②中小企業景況調査
- ③LOBO（早期景気観測）調査
- ④地域診断サービスによる調査

（令和6年度）

A	B	C	D
4			

（参考 令和5年度）

A	B	C	D
3	1		

【評価内容】

- 【委員1】各項目の調査は、それぞれ計画どおり実施し公表されているとともに、経営指導員等の巡回指導にも活用されている。
- 【委員2】目標通り実施し、調査成果を活用している。
- 【委員3】①～④ともに目標を確実に達成している。①のアンケート結果では青森中央学院大学の竹内教授の総評にある人手不足、価格転嫁、金融支援のキーワードに沿った対策について、県、市と共に講じられることを期待する。
- 【委員4】経営課題アンケート調査については、青森中央学院大学の協力を得て多角的な分析を行うことができ、経営指導や施策によく活かされている。

2. 需要動向調査に関すること

- ①自社店舗等での需要動向調査アンケート
- ②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査

（令和6年度）

A	B	C	D
	3	1	

（参考 令和5年度）

A	B	C	D
1	2	1	

【評価内容】

- 【委員1】調査結果や分析結果が経営指導員等から直接各事業所にフィードバックされ、新たな需要開拓につなげていることは評価できる。需要動向調査を行った事業所が令和5年度と同様に目標の半分であったことから、引き続き調査需要の掘り起こしに注力していただきたい。
- 【委員2】昨年同様①②ともに実施件数が目標件数を下回っている。
- 【委員3】計画4期目で前期と同様の目標に対し実績としては昨年度と同様。①の自店舗での需要動向調査については、早い段階から対象店舗をリストアップし目標を達成出来るような取組が出来れば望ましい。②については、支援事業者数は目標数に達していないが、東京ビッグサイトでの出展を機に商談の機会創出に繋がったようであるため、成功実績、ノウハウを次年度以降の出展者へ繋げていけばより有効な事業であると考えます。
- 【委員4】実施件数は減ったが、事業者の新たな需要開拓に向け、きめ細やかな支援を行った。

3. 経営状況の分析に関すること

- ①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析
- ②「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析
- ③「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析
- ④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の掘り起こしと経営分析

(令和6年度)

A	B	C	D
2	1	1	

(参考 令和5年度)

A	B	C	D
	3	1	

【評価内容】

【委員1】①及び④は目標を上回っているが、②及び③は目標を下回っていることから、窓口相談・巡回相談での事業所のニーズ把握や、日本政策金融公庫との連携強化などにより、小規模事業者の掘り起こしと経営分析に取り組んでいただきたい。

【委員2】「金融相談会・金融支援」における経営分析が目標件数の47%であるが、目標設定時と大きく経営環境が変わっているため、相談件数等から考慮し成果を達成している。また、AOMORI STARTUP CENTERを活用して創業した小規模事業者の経営分析は、前年度4件に対し20件の実績であり、かつ目標を達成している点は高く評価できる。

【委員3】①「講習会の開催」については、非常に多様な内容で開催しており、経営分析まで繋がっているケースもあるとのことで効果的な取り組みであるといえる。②窓口相談、巡回相談については前年度までの実績から比較すると、件数が大幅に減少し目標も下回ったが、昨年度は小規模事業者持続化補助金の公募も限定的で減少した要因も想定されるため、やむを得ない部分もあるかと思う。③金融相談会・金融支援は、当初の目標設定がコロナ禍のマル経融資相談が多い時期を基準としているため目標に対し半数程度の実績となっている。今後の目標設定の見直しが必要と思われる。④は、昨年度から大幅に増加し目標件数も達成しており、力を入れて対応したことが評価出来る。創業後の早期廃業の事例も県内で多くみられているので継続して創業後のサポートを期待する。

【委員4】各種セミナー等を積極的に開催し、経営分析やその活用に努めるとともに、課題であった創業者のフォローアップ分析の実績を伸ばした。

4. 事業計画策定支援に関すること

- ①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起こしと事業計画策定
- ②巡回・窓口相談による事業計画策定
- ③創業・第二創業計画策定支援
- ④事業承継計画策定支援

(令和6年度)

A	B	C	D
3	1		

(参考 令和5年度)

A	B	C	D
4			

【評価内容】

【委員1】AOMORI STARTUP CENTERにおける計画策定支援が目標を大きく上回っており、効果的な取組であると評価できる。青森市は高齢な経営者も多く見受けられることから、事業承継計画策定支援については、引き続き積極的に取り組んでいただきたい。

【委員2】計画2回に対し開催回数3回。

【委員3】②の項目以外については目標を達成しており評価出来る。②は、金融相談者を対象とした事業計画策定は昨年度から伸びており評価出来る。③については、昨年度から減少したがAOMORI STARTUP CENTERでの創業計画策定件数が目標を大きく上回っている。

【委員4】創業支援業務においては、高い水準の創業件数を達成するとともに、事業承継においても、多くの支援件数の実績を残した。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

①フォローアップ対象事業者数

②フォローアップ件数

(令和6年度)

A	B	C	D
2	2		

(参考 令和5年度)

A	B	C	D
3	1		

【評価内容】

【委員1】対象事業者を漏れなくフォローアップしており、着実に取り組まれていると評価できる。引き続き、事業者に対する継続的な支援に取り組んでいただきたい。

【委員2】計画5件に対し実施件数13件。

【委員3】①事業計画のフォローアップ事業者数について昨年度実績より減少しているが、当該年度、前年度の実績ともに目標を大きく上回っており、評価出来る。②フォローアップについては、各種補助金申請者へのフォローアップが大幅に減少しているが先述の通り、小規模事業者持続化補助金が限定的な公募であったため大きく影響を受けたためやむを得ないかと思う。売上増加・利益率3%増加事業者数は前年度実績と比較し、大きく減少している。要因が事業者を取り巻く環境の変化にあるとすれば、今後も利益率増加にフォーカスした支援、対策の助言が求められる。

【委員4】フォローアップ対象事業者について、関係機関とも連携しながらきめ細やかに対応した。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

- ①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展（B to B）
- ②食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会への出店支援の実施（B to C）
- ③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓（B to B）
- ④IT を活用した販路開拓支援の実施（B to C）

（令和 6 年度）

A	B	C	D
2	1	1	

（参考 令和 5 年度）

A	B	C	D
2	1	1	

【評価内容】

【委員 1】 ①については出展者数も多く、成約件数が 3 件あったことは評価できる。④については支援事業者及び売上高 5 %以上増加の事業者数ともに目標値を下回ったことから、目標達成に向け、着実に取組を実施していただきたい。

【委員 2】 商談成立はなかったが、継続すべき事業。

【委員 3】 ①出展者数は前年度に引き続き目標を大きく上回っており、青函パートナーシップ支援事業については参加事業者も切り替わっているとのことでマンネリも改善され、評価出来る。②AOMORI STARTUP CENTER 内での販売は事業者数は変わらず少ないが、売上高は上がっており 1 社ごとの成果は出ていると評価出来る。③出展者数は概ね目標をクリアしているが、商談への成約件数は無かったことからオンラインでの商談の難しさがみられる。ニーズの事前リサーチ等改善。④セミナー、個別相談の実施により売上増になった事業者が 1 社あり成果が出ている。

【委員 4】 商談会をはじめ、需要開拓、販路開拓に係る取組みを積極的に行い、成約件数も生み出している。

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事

（令和 6 年度）

A	B	C	D
3	1		

（参考 令和 5 年度）

A	B	C	D
2	2		

【評価内容】

【委員 1】 適切に実施されている。

【委員 3】 事業評価委員会を確実に開催し、評価・検証を実施し、結果を公表しており、着実に実施されている。

【委員 4】 事業評価や検証を行い、施策や具体の取組みに活かしていく必要がある。

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ①「経営指導員等情報交換会」の開催
- ②組織内での支援ノウハウの共有

(令和6年度)

A	B	C	D
4			

(参考 令和5年度)

A	B	C	D
2	2		

【評価内容】

【委員1】経営指導審等情報交換会及び組織内での支援ノウハウの共有が計画どおり実施されている。引き続き、経営指導員等の資質向上に取り組んでいただきたい。

【委員2】経営指導員等情報交換会に補助員や一般職員を加える等、組織内での情報共有を行っている。

【委員3】①、②ともに計画に沿って十分に実施されている。令和8年度以降の計画については、多様な経営課題に対応出来るよう柔軟かつトレンドに沿ったテーマの資質向上に繋がる計画となることを期待したい。

【委員4】経営指導員の支援ノウハウや支援方法の研修、情報交換等を積極的に行った。

9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ①小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会
- ②その他支援機関との情報交換

(令和6年度)

A	B	C	D
4			

(参考 令和5年度)

A	B	C	D
3	1		

【評価内容】

【委員1】他の支援機関との情報交換のための協議会等が計画どおり開催されている。引き続き、支援機関と連携を図ることにより、小規模事業者への積極的な支援に取り組んでいただきたい。

【委員2】会議やワーキンググループ等に積極的に参加している。

【委員3】①公庫青森支店との「小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会」をむつ市商工会議所と連携開催しており、金融相談窓口での対応もかなり多く開催しており評価出来る。②青森県信用保証協会との「青森県中小企業支援ネットワーク会議」、青森県主催の「地域金融推進協議会」の参加等、各機関との連携は十分に図られている。

【委員4】他の支援機関との連携による支援力向上についても、効果を上げている。

10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること

- ①国内外からの誘客推進並びに経済交流推進事業
- ②ヘルスケア・ビジネス創造事業
- ③中心市街地活性化事業
- ④株式会社まちづくり青森との連携
- ⑤青森地域7大学等との連携事業
- ⑥まちなかキャンパスの開催
- ⑦人財育成 雪花雪中塾の開講

(令和6年度)

A	B	C	D
4			

(参考 令和5年度)

A	B	C	D
3	1		

【評価内容】

【委員1】計画どおりに事業を実施しており、本市の地域経済の活性化に大きく貢献している。

【委員2】経済交流事業に積極的に参加している。

【委員3】多様な事業について計画的に実施し、地域経済の活性化に貢献していると評価出来る。⑤の株式会社まちづくり青森との連携では、チャレンジショップでの出店の段階で卒業後を見越した計画の策定、支援を期待する。各事業の成果を検証しながら効果的な事業を継続していただきたい。

【委員4】地域経済活性化につながる各種事業についても、実効性の高い取り組みを行った。

【総括的評価内容等】

【委員1】令和6年度の国内経済は回復基調を維持した一方、人手不足や原材料価格の高騰など、中小事業者等にとって厳しい状況の中、各事業の実施により一定の成果があったものと認識している。令和7年度は、賃金上昇が物価上昇を上回り、個人消費が増加するとともに、企業の設備投資も堅調な動きが見られるなど、民間需要主導の経済成長が継続することが期待されており、事業計画策定支援等の各種事業は、引き続き重要なものであると考えられることから、関係機関と連携のうえ、事業者のニーズを踏まえた一層の支援に取り組んでいただきたい。

【委員2】今年度は特に AOMORI STARTUP CENTER を活用して創業した小規模事業者の指導に積極的に取り組んでいる。組織強化につながる事業であり、是非継続してもらいたい。

【委員3】計画全体を通しては、前年度までと比較すると大きく実績が落ち込んでいる項目もあったが、小規模事業者持続化補助金の限定的な公募等やむを得ない事情も見られた。県外への出展について商談に結び付いた成果も見えた事例もあったので、外貨獲得に向けた実績、ノウハウを横展開していくことで県内事業者の稼ぐ力もより高まっていくのではないかと。計画が5か年度ごとの更新とのことで、現在の急激に変化している経営環境の中では計画の設定値が今のトレンドに合致していない項目

もみられることから、今年度の経営発達支援計画を進めていきながら、この先5か年度を見越した計画の策定をしていければ支援の実行性も一層高まるのではないかと思う。5年先を見越すのは難易度が高いが、価格転嫁、人手不足、DX等近年の普遍的な経営課題は当面変わらないので、計画策定のポイントになるのではない。翌年度、翌々年度を特に意識した計画策定をしていただきたい。

【委員4】原材料価格の高騰や人材不足など厳しい経済環境の中、事業者の経営安定のための伴走型支援としては実効性を上げている。また、販路開拓支援を積極的に行ってきたことによる効果が今後一層発現されることを期待している。一方、経営指導員の削減（事業所数の減少による）が懸念される中、その必要性、重要性を訴え、行政当局に強く要望していく必要がある。

【改善事項】

- ①本計画策定時の経営環境との変化を勘案しながら、令和8年度以降の計画策定を行う。
- ②経営課題アンケート調査結果の分析を引き続き行い、経営課題として多く挙げられている人手不足や物価高騰、価格転嫁といった課題に対し、効果的な事業を関係団体と連携し取り組む。
- ③マル経融資制度の周知を強化するとともに、マル経利用先へのフォローアップを実施することで、マル経融資の経営分析数の増加を図る。
- ④青森市と連携し、AOMORI STARTUP CENTER を活用して起業した事業者へ小規模事業者持続化補助金の利用を促すなど販路拡大へ向けた起業後のフォローアップを実施する。
- ⑤展示商談会等において、今まで以上の商品のブラッシュアップや提案力を高め、商談成約に結びつく取り組みを強化する。

以 上